

本草圖譜

濕草部

十

灌園 岩崎常正著 濕草部

本草圖譜

本草圖譜卷之十目錄

濕草類一

甘菊かんきく

れうりきく

二

一種

花辨はなはな

一種

花辨平はなはなひら

三

一種

龍腦菊りゅうのうきく

秋菊あききく

中なかつ

四

洋菊やうきく

木き

夏菊かきく

三さん種しゅ

五

一種

五種

ふだん菊

三さん種しゅ

六

茶菊ちあきく

二に種しゅ

七

満天星まんてんせい

六ろく種しゅ

八

野菊やきく

ひょうりきく

九

一種

をらんぐのまぐ

一種

一種

和州の産

十

一種

朝鮮種

菴蘭 あんらん

いぬよもぎ

薯 し

のこぎりさう

十一

一種

深紅花の物

一種

白花の物

十二

一種

なごろもさう

艾 い

蘄艾

十三

一種

伊吹よもぎ

一種

もちくさ

十四

一種

ちりめんよもぎ

一種

ひめよもぎ

一種

細葉の物

十五

一種

やふきよもぎ

蘿蒿 ろうこう

ぬまゆもぎ

一種

圓葉の物

千年艾 せんねんかい

ちびとぎく

本草圖譜卷之十

東都

岩崎常正著

濕草類一

四十五種

甘菊^{かんきく}

れうりきく

秋菊の類ふて高サ三四尺九月花あり瓣筒様にて黄色千層心あり一瓣の本筒にて末五ツは切るもれなり味甘し藥用食用とぞふし鹽藏して久しく色味衰ぜざる也此種を壽命菊といふ



一種

花瓣平々かにて
よれるものあり



一種

花瓣平ふてよ
れざるものなり
以上三種苦味なく
味い甘し弘景の
説ふ為真菊と
いふ是なり



一種

り、うさぎきく



山生の白菊ちり美濃近江下野足尾武州多摩川其外諸國山中みあり丹波亀山の産ハ
花大ちり高^サ二尺許葉小く香氣竜腦に似たり康熙菊譜小載る龍腦菊又小銀臺
と云是なりこれ蘇頌説ところの白菊の類あり

秋菊

ちうぎく

此種あさひといふ

形チ甘菊に似て高さ四五尺漢種も有り和
産種類甚だ多し実を植て花色変ず
るゆゑ其名数知るべし菊經に詳
なり漢土にては范成大菊譜康熙菊
譜花史尤編群芳譜秘傳花鏡等に種
類の名を挙げんとす



洋菊

御製詩集

ねぢぎく

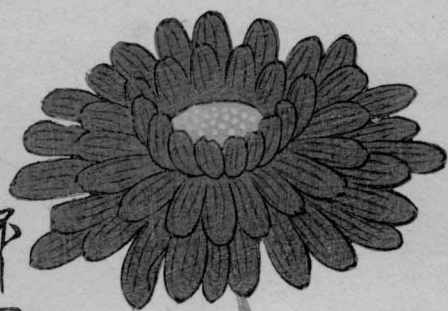
形ナ秋菊に似て花大
なり実を植て花色ハ
変ずれども秋菊より
種類少

此種ハふりぎといふ



夏菊

秋菊の類にして早く花を開くものあり培養すれば三四月花あり黄紅の数色あり時珍説と云ふ夏菊あり



糸つきよ



たまのしと



同

くろく云

くま云



ふだんと云

